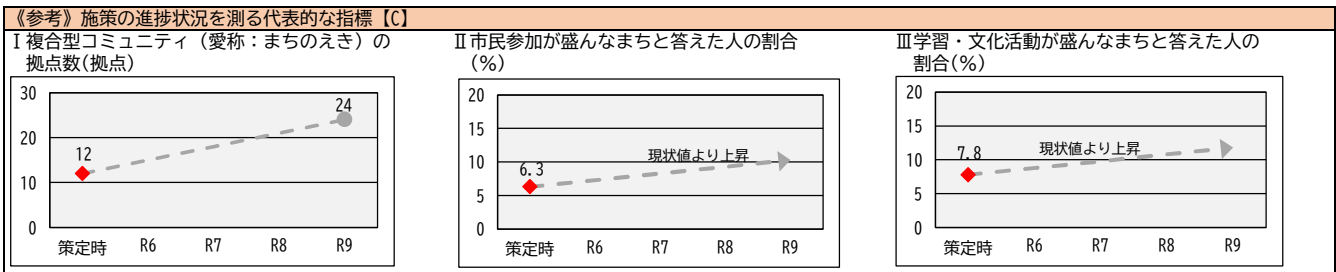


施策名 1 市民自治活動・学び		第2期基本計画を構成する1～13の基本的施策及び4つの経営的施策		総合計画審議会からの施策目標の実現に向けた講評等	
R9年度末にめざす状態（施策目標）【P】	自ら学び、地域活動や市民活動に取り組む市民が増えている	進捗度	B	6 前年度総合計画審議会からいただいた評価及びご意見等を記載。 ※令和7年度はこちらに審議会としての評価、ご意見等を記載いたします。	
(1)持続可能な身近なコミュニティづくり		2 5年後のまち:各施策において、市民や事業者、行政が共に4年後に実現を目指す将来の暮らしや、まちの姿、行動を示したもの		3 4年後のめざす状態への進捗度を5段階で選択 A:4年後にめざす状態をすでに実現している B:4年後にめざす状態の実現に向けて大変順調に進んでいる C:4年後にめざす状態の実現に向けて概ね順調に進んでいる D:4年後にめざす状態の実現には努力が必要である E:4年後にめざす状態の実現には相当努力が必要である	
施策目標の実現に向けて得られた成果【C】		より効果の内容とその根拠【D】			
施策目標の実現に向けて解決すべき課題【C】		施策目標の実現に向けた今後の取組の方向性【A】			

(2)主体的な学びの場の創出		
施策目標の実現に向けて得られた成果【C】	施策目標の実現に効果のあった取組【D】	取組による効果の内容とその根拠【D】
4 第2期基本計画で示す施策の主な方向性ごとに、施策目標の実現に効果のあった取組【D】、成果や課題【C】、今後の取組の方向性【A】を記載。		
施策目標の実現に向けて解決すべき課題【C】	施策目標の実現に向けた今後の取組の方向性【A】	

(3)文化振興による市の魅力向上		
施策目標の実現に向けて得られた成果【C】	施策目標の実現に効果のあった取組【D】	取組による効果の内容とその根拠【D】
施策目標の実現に向けて解決すべき課題【C】	施策目標の実現に向けた今後の取組の方向性【A】	



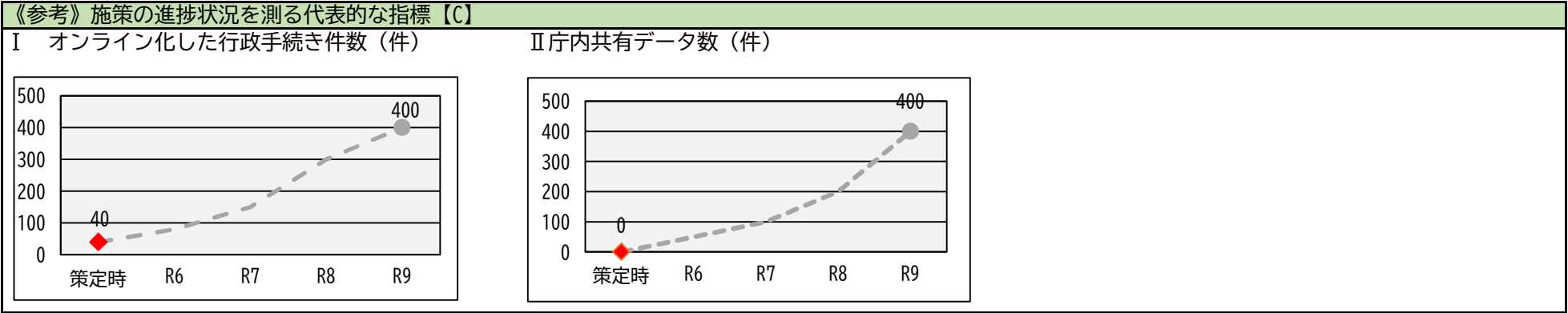
《参考》めざす状態に対する市民実感度 「そう思う」＋「どちらかというと思う」と回答した人の割合	
【R6.8月】	(参考) 前回値
26.3%	—

5 めざす状態に対する市民の実感度をアンケートで調査。(※令和6年度 市民実感度調査結果)

施策名		I スマートシティ・DX	
		1 第2期基本計画を構成する4つの経営的施策	
R9年度末にめざす状態 (施策目標)【P】	デジタル技術やデータの活用による、スマートシティの実現に向けた取組が進んでいる	進捗度	B
		2 5年後のまち:各施策において、市民や事業者、行政が共に4年後に実現を目指す将来の暮らしや、まちの姿、行動を示したもの	
総合計画審議会からの施策目標の実現に向けた講評等			
6 前年度総合計画審議会からいただいた評価及びご意見等を記載。 ※令和7年度はこちらに審議会としての評価、ご意見等を記載いたします。			
(1)利便性の高い市民サービスの提供 施策目標の実現に向けて得られた成果【C】		3 4年後のめざす状態への進捗度を5段階で選択 A:4年後にめざす状態をすでに実現している B:4年後にめざす状態の実現に向けて大変順調に進んでいる C:4年後にめざす状態の実現に向けて概ね順調に進んでいる D:4年後にめざす状態の実現には努力が必要である E:4年後にめざす状態の実現には相当努力が必要である	
施策目標の実現に向けて解決すべき課題【C】		施策目標の実現に向けた今後の取組の方向性【A】	

(2)高度で効率的な行政事務の実現		
施策目標の実現に向けて得られた成果【C】	施策目標の実現に効果のあった取組【D】	取組による効果の内容とその根拠【D】
4 第2期基本計画で示す施策の主な方向性ごとに、施策目標の実現に効果のあった取組【D】、成果や課題【C】、今後の取組の方向性【A】を記載。		
施策目標の実現に向けて解決すべき課題【C】	施策目標の実現に向けた今後の取組の方向性【A】	

(3)スマートシティの推進		
施策目標の実現に向けて得られた成果【C】	施策目標の実現に効果のあった取組【D】	取組による効果の内容とその根拠【D】
施策目標の実現に向けて解決すべき課題【C】	施策目標の実現に向けた今後の取組の方向性【A】	



《参考》めざす状態に対する市民実感度 「そう思う」+「どちらかというと思う」と回答した人の割合	
【R6.8月】	(参考) 前回値
20.3%	—

5 めざす状態に対する市民の実感度をアンケートで調査。(※令和6年度 市民実感度調査結果)

基本目標 1 子育て世代が住みやすい環境づくり		1 戦略的施策の項目＝デジ田総合戦略の基本目標		総合計画審議会からの目標の実現に向けた講評等	
R9年度末にめざす状態【P】	2 5歳～44歳を中心とした子育て世代の転入・定住が促進されている。	進捗度	B	5 前年度総合計画審議会からいただいた評価及びご意見等を記載。 ※令和7年度はこちらに審議会としての評価、ご意見等を記載いたします。	
(1)こどもが生まれ、育てやすい環境づくり		2 基本目標を具体化しためざす状態【P】を記載。		3 4年後のめざす状態への進捗度を5段階で選択 A:4年後にめざす状態をすでに実現している B:4年後にめざす状態の実現に向けて大変順調に進んでいる C:4年後にめざす状態の実現に向けて概ね順調に進んでいる D:4年後にめざす状態の実現には努力が必要である E:4年後にめざす状態の実現には相当努力が必要である	
得られた成果【C】				めざす状態の実現に効果のあった取組【D】	
解決すべき課題【C】		4 戦略的施策に記載する施策の方向性ごとに、めざす状態の実現に効果のあった取組【D】、成果や課題【C】、今後の取組の方向性【A】を記載。		今後の取組の方向性【A】	
(2)ライフサイクルの変化等に対応した住まいの選択肢の充実					
得られた成果【C】				めざす状態の実現に効果のあった取組【D】	
				取組による効果の内容とその根拠【D】	
解決すべき課題【C】				今後の取組の方向性【A】	

